

# ① 広報のまち



9月号  
No.95

## 盛大に 第四回地獄まつり

第四回地獄まつりは八月二十五日から三日間、登別温泉街を舞台に、町民多数が参加して盛大にくりひろげられました。

このまつりは、登別温泉開基百十周年記念の式典とクッタラ湖循状道路完成式典、地獄まつり開祭式で幕をあげたが、三日間の人気の的となったのは、鬼踊りの小、中学生、各町内婦人および団休、自衛隊、役場職員など約三千人の大郡舞で、道路をうずめる観光客は目をみはっていた。

また、テレビでおなじみの立川談志ら苦手落語家出演の「笑点」が公開録音され、二時間も前から人の列がならんだ。

—そのほか、全国太鼓まつりで、地元から登別北海太鼓、北陸富山県から源氏太鼓、九州小倉の祇園太鼓が、それぞれ伝統ある太鼓を妙技し、見物客の胸をひびかせた。

なお、三日間の動員数は十万人を突破し、盛会裡に祭典を終了した。

### 町の人口

(八月末現在)

先月との増減

男 二二、一七八人 (三三減)

女 二〇、六八九人 (九〇減)

計 四二、八六七人 (一二三減)

世帯数

一〇、九一一世帯 (二二減)

(国保)と(健康)

「健康とは何ぞや」といいますと、大半の人は病気がかかっていない状態とおっしゃいますが、私達は平素健康については無関心で自分自身が疾病にかかり、初めて健康のありがたみがわかるものです。

真の健康とは、家庭において不安定のない状態(すべての人の精神的、肉体的な健康の向上を目的)をいいます。

人間は何時疾病にかかるかわかりません。そのための疾病に対する給付保障があり、これが国民健康保険であります。他の保険等に加入していない方は早急に入入手続きをしましょう。

町の国民健康保険事業は、昭和二十四年から事業を開始し、国民健康保険事業の健全な運営を図って、社会保障及び国民健康保険の向上に努めております。

最近では、公害問題、労働災害の多発、それに近代病といわれる高血圧症、癌、老人病、脳溢血病、胃腸病、感昌疾患等が増加しております。

どうぞ、被保険者のみなさんは、次のことに留意して、健康増進に努力しましょう。

- (1) 健康に対する正しい認識
- (2) 受診に対する正しい考え方
- (3) 医師に必ず正しい認識

おとしよりを幸せに

九月十五日は敬老の日

国民祝日に「敬老の日」が制定され、第二回目を迎えました。

殊にこの日は、長い年月、いろいろの面で社会の進展に力をつくしてくださったおとしよりを私たちは常に敬愛の念をもち、しあわせな余生を送ることができるようになつてほしい。

日本人の平均寿命は七十才に達し、戦前に比較すると、二十年近くも長生きすることができるようになりました。

しかし、私達の周囲をみると、おとしよりが、毎日の生活を安心して暮らしている環境にあるとは思えません。

長寿と幸せは必ずしも一致しないのが現実の姿のようです。おとしよりの問題は、老人だけでなく、

みなさんと社会全体のものであることを忘れてはなりません。老人の生活を円満におくらせるためには、家庭内の老人のささやかな願いも拒むことなく、お互に相手の立場を尊重し、進んで温かく楽しい雰囲気の中に抱いていくことが大切でです。

私達の中には、老令であるがために、その功績や、恩情への大切な感謝を忘れてはいませんか。また、おとしよりも社会の現実をよく知って、いたずらに權威に甘えて、時の流れにおぼれることなく、社会の一員として責任と義務を負担し、苦い人々の人間的な欲求を充分理解して、慕われ、愛される「おとしより」になりましょう。

九月十五日の「敬老の日」を迎えて、私達一人一人が尊敬、愛情そして理解を持って家庭を温い巣床であるよう地域、町ぐるみで老後を明るく、余生を楽しく過せるような家庭をつくりましょう。

最高令者は 倉谷シモさん (幌別)

住民登録により八月三十一日現在で、町の高令者を調べたところ、次のとおりとなります。

今後ますますお元気で、長寿され、社会の一員として活躍されますことを望みます。

男					女				
生年月日	年令	氏名	住所	生年月日	年令	氏名	住所		
明治 1. 5. 20	91	西巻喜藏	上鷺別33	明治 7. 7. 4	93	倉谷シモ	幌別132		
9. 6. 16	91	菊地亀次郎	登別温泉163	7. 12. 18	92	伊吹野 婦よ	幌別181~7~2		
9. 11. 15	90	石山虎次郎	幌別69	9. 6. 28	91	平野 タハ	上鷺別~32~135		
10. 10. 23	89	岡田源藏	上鷺別26	10. 7. 23	90	平野 タハ	富浦74		
11. 5. 19	89	加賀谷定吉	鷺別92	11. 2. 10	89	田川ハキ	来馬富士鉄社宅		
11. 7. 25	89	毛利昭平	登別温泉55	11. 7. 21	89	川本ハキ	幌別170~37		
11. 8. 15	89	村山慶太郎	鷺別69	11. 10. 5	88	川本ハキ	登別温泉無		
11. 10. 5	88	柳条工門	上鷺別53	12. 5. 16	88	山本ハキ	来馬263の9		
1. 10. 10	88	北鈴木三五郎	来馬269の7	12. 6. 27	88	兵米ハキ	登別温泉52		
11. 12. 14	88	富森藤太郎	来馬265の17	13. 2. 13	87	米網ハキ	登別温泉無		
12. 1. 11	88	及住久治	鷺別72	13. 2. 23	87	清野ハキ	来馬富士鉄社宅		
12. 3. 23	88	大林勇	上鷺別33	13. 9. 7	86	佐藤ハキ	来馬126		
12. 9. 11	87	関岩吉	来馬富士鉄社宅	13. 10. 10	86	大田ハキ	幌別248		
13. 2. 10	87	佐藤清三郎	来馬126	13. 10. 10	86	中川ハキ	鷺別44		
13. 2. 18	87	沼山種吉	来馬富士鉄社宅	13. 12. 31	86	古川ハキ	富浦83		
13. 3. 1	87	山本健吉	来馬157	14. 3. 18	86	杉田ハキ	来馬68の53		
14. 1. 1	86	寺島滝次	幌別223	14. 4. 1	86	森上ハキ	来馬富士鉄社宅		
14. 3. 15	86	加茂源三郎	幌別169	14. 5. 12	86	森上ハキ	上鷺別~1~26		
15. 7. 16	85	鹿内又作	幌別91	14. 6. 13	86	上原ハキ	富岸~34~2		
15. 12. 9	84	藤原儀八	鷺別~1~64	14. 7. 17	86	高橋ハキ	カルルス12		
				14. 7. 7	86	高橋ハキ	鷺別80		
				14. 11. 3	85	高橋ハキ	鷺別79		
				14. 11. 15	85	高橋ハキ	来馬253の12		

# 共同募金特報

## 昭和41年度共同募金結果報告書

昨年10月から12月までの3ヶ月間を募金期間として実施しました。昭和41年度たすけあい共同募金の成績は、おかげさまで、目標額1.37万円に対して実績額1,417,153円目標達成率103.44%又歳末たすけあい募金におきましても812,567円という立派な成績をおさめました。

町民の皆様の温いご支援と奉仕者の方々の、ご努力に対し深く感謝申し上げます。お寄せ戴きました寄附金は、本道民間社会福祉施設や、当町社会福祉協議会などに配分され、恵まれない人々の更正や社会福祉の仕事をすすめるため役立たせて戴きました。ここに次により簡単ながら結果のご報告申し上げます。

尚本年度共同募金運動につきましても前年同様一層のご支援とご協力を賜りたく重ねてお願い申し上げます。

昭和42年9月

共同募金登別町分会長 河野敏文

① 募 金 実 績							② 募 金 配 分 状 況			
目標額	戸 別	法 人	人 口	街 頭	歳 末 たすけあい	計	道募金会	支庁会	町社協	計
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
1,370,000	692,049	607,700	117,404	812,567	2,229,720	489,200	74,000	1,666,520	2,229,720	

### ③ 町社会福祉協議会の支出状況

費 目	金 額	支 出 内 訳 (大別)
援 護 指 導 費	662,251 <sup>円</sup>	歳末慰問一般法外援護、心配ごと相談等
青少年児童福祉費	529,629	児童生徒の修学旅行補助、子供会活動費、学童保育所関係費等
老人福祉費	112,620	老人クラブ活動補助等
母子福祉費	39,440	母子会行事補助等
身体障害者福祉費	60,000	団体活動補助等
保護司活動費	40,000	〃 〃
そ の 他	222,580	法外生活費一時貸付金、諸福祉事業費等
合 計	1,666,520 <sup>円</sup>	

# 町職員の採用試験

町では、昭和四十三年度町職員採用のため、次の要領で採用試験をおこないます。

## 1. 採用予定人員

事務職員 六名程度  
消防署員 三名程度

## 2. 受験資格

昭和四十三年に高校卒業見込みのもので、学校長の推せんによるもの。  
事務職員は、登別町内に居住するもの。  
消防署員は、登別町字鷺別町に居住しているもの。

## 3. 試験の方法、期日、場所

①第一次試験  
昭和四十二年十月月上旬に町中央公民館でおこなう。  
試験科目は、国語、数学、社会、作文。

## ②第二次試験

昭和四十二年十月下旬に、第一次試験合格者を対象に面接試験をおこなう。

## 4. 受付期間

昭和四十二年九月三十日まで。

## 5. 受験手続

申込みのとき、次の書類を完備すること。  
(イ) 受験申込み書(庶務課職員係に備付してあります)  
(ロ) 履歴書および家族調書(市販のもの)  
(ハ) 写真一枚(履歴書に貼付する)  
(ニ) 卒業見込み証明書

(ホ) 成績証明書  
(ヘ) 健康診断書  
(ト) 学校長の推せん書(町指定の様式のもの)  
(チ) 住民票抄本

## 6. 申込み先

次の学校に在学しているものは学校に(イ)および(ロ)の用紙を送付してありますので、学校を経由して申込みください。  
登別高校、室蘭栄高校、室蘭商業高校、室蘭清水ヶ丘高校、登別大谷高校、駒沢大学附属苫小牧高校、室蘭カトリック女子高校、日本大学高校

# 国民年金は 若いうちに加入しよう

## 国民年金制度の仕組み

国民年金以外の公的年金に加入していない人は、すべて加入しなければならぬ制度です。  
したがって、満二十才になると加入の手続きをしなければならぬことは勿論ですが、何らかの都合で今までに加入していなかった方、または職業がかわって国民年金以外の公的年金が切れた場合は必ず、役場国民年金係が各支所へ加入の手続きをしなければなりません。

これは、将来国民年金の支給を受けるためには、二十五年以上保険料を納めておかねばならぬからです。  
国民年金制度の仕組み  
国民年金は、国民年金に加入して、自分自身で老後の生活を安定させるといふことと他の公的年金に加入できない農村、漁業、商業、自由業、サービス業などにたずさわっている人々に、国民年金に加入してもらい、将来の保障を考えていただくというものです。

・その他の学校に在学しているものは、所定の様式により、役場庶務課職員係に直接申込みください。  
7. その他 詳細については役場庶務課職員係(電話二、一一一番)に問合せてください。

## (表) (彰)

去る八月二十三日、道社会福祉協議会研究大会において、北海道共同募金会長より次のとおり表彰されました。

これは、共同募金活動への温かい支援と奉仕者として、この功績を讃え、表彰されたものです。  
▽団体  
共同募金登別分会(優秀地区) 遠藤 広雄(字鷺別)

## インフルエンザ

### 予防接種

インフルエンザの予防接種を次の日程でおこないます。該当する方は、お忘れなく接種してください。

◎該当者 生後三ヶ月以上のもの  
◎接種料金(二回分)  
一才未満 一五〇円、一才以上六才未満 一〇〇円、六才以上十才未満 一〇〇円

## 今月の納税



◎町道民税(二期分)  
◎国民健康保険税(二期分)  
9月16日より9月30日までです。必ず、納期内に納めましょう。

場所	日 時		備 考
	1回目	2回目	
ひまわり園	10.2	10.9	13.00~13.30
鷺別公民館	2	9	14.00~15.00
中央公民館	4	12	10.23 14.00~15.00
社宅診療所	3	11	13.00~15.00
登民会館	5	13	14.00~15.00
温泉支所	6	14	14.30~15.00

五才未満一五〇円、十五才以上一五〇円  
料金は第一回目の接種日に全額を納入していただきます。

## 美 挙

(愛情銀行へ)

吉鷹敬二郎(川上) 一〇、〇〇〇円  
コルヒーパーリイ 一、六八〇円  
前川よし(幌別) 雑布二〇枚  
山崎信一(米馬) 古切手三五〇枚  
匿名(幌別) 学用品一包  
山崎正一(幌別) 二〇、〇〇〇円

三十四才以下の人は、月額二百円、三十五才以上の人は、二百五十円と納めやすい料金になっています。また、経済的な事情などで保険料を納めることができない場合は、本人の申請によって一応保険料が免除され、将来納めることができたときにまとめて納めていただきます。

なお、保険料が免除されたままになっていても、正常に納めていた人に支給される年金額の三分の一が支給されることになります。

保険料の納入  
毎月納めるのがたてまえですが、一年分をまとめて前納することもできます。

また、基準月といって三ヶ月に一度保険料が間違いなく納められているかを確認する月があり、十月は、その基準月です。四月から九月分までの保険料で、まだ未納

- (1) 厚生年金保険
- (2) 恩給
- (3) 国家公務員共済組合
- (4) 地方公務員等共済組合
- (5) 私立学校教職員共済組合
- (6) 船員保険
- (7) 公共企業体職員等共済組合
- (8) 農林漁業団体職員等共済組合
- (9) 国会議員互助年金